

燃料費調整単価の算定方法

【燃料費調整単価の算定式】

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{①平均燃料価格} - \text{②基準燃料価格}) \times \text{③基準単価} / 1,000$$

燃料費調整単価は、小数点第1位で四捨五入します。

①～③の詳細は以下の通りとなります。

①平均燃料価格

原油・LNG・石炭 各々の3か月の貿易統計価格(実績)と以下の算定式により、算定します。

【平均燃料価格の算定式】

$$\text{平均燃料価格 (原油換算 1kl あたり)} = A \times \alpha + B \times \beta + C \times \gamma$$

A : 3 か月における 1kl あたりの平均原油価格	$\alpha = 0.0048$
B : 3 か月における 1t あたりの平均 LNG 価格	$\beta = 0.3827$
C : 3 か月における 1t あたりの平均石炭価格	$\gamma = 0.6584$

α 、 β 、 γ は、原油、LNG、石炭について、原油へ単位を合わせ、各燃料構成比を乗じた係数で、これによりそれぞれの燃料の平均価格から原油換算の平均燃料価格を算定します。

②基準燃料価格

基準燃料価格とは、料金設定の前提となる平均燃料価格のことをいいます。

2022年11月 ～2023年1月 平均の貿易統計価格	1kl あたりの平均原油価格	82,572 円	} (原油換算 1kl あたり) 86,100 円 = 基準燃料価格
	1t あたりの平均 LNG 価格	132,509 円	
	1t あたりの平均石炭価格	53,189 円	

③基準単価

平均燃料価格が 1,000 円/kl 変動した場合の燃料費調整単価を「基準単価」(0.183 円/kWh) としております。